

静岡県消費者物価指数の動き

平成25年平均の総合指数は5年ぶりに上昇

企画広報部 統計調査課

「静岡県消費者物価指数」は、総務省統計局が実施している「小売物価統計調査」の調査票情報を利用し、静岡県が実施している「静岡県小売物価統計調査」の調査結果と合わせて静岡県が独自に算出したものです。

平成25年平均の静岡県消費者物価指数は、平成22年を100とした**総合指数**で**99.9**となり、前年比**0.3%の上昇**となった。

生鮮食品を除く総合指数は**100.0**で、前年比**0.3%の上昇**となった。

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は**97.8**で、前年比**0.4%の下落**となった。

1 年別の動き

総合指数は平成15年から下落傾向にあるが、平成20年には原油価格や穀物価格の高騰を受けて石油製品や食料品が上昇したことにより**1.0%の上昇**となった。

平成21年は一転して原油価格が下落して**1.9%の下落**となり、その後も耐久消費財の値下がりなどの影響により下落が続いた。

平成25年は、総合指数が5年ぶりに上昇に転じた。これは、原油高や円安の影響で電気代、ガソリンなどのエネルギー関連価格や一部の食品が上昇したことが主な要因である。また、耐久消費財の下落幅が24年に比べ減少したことも影響した。

図1 静岡県消費者物価指数の推移

(平成22年=100)

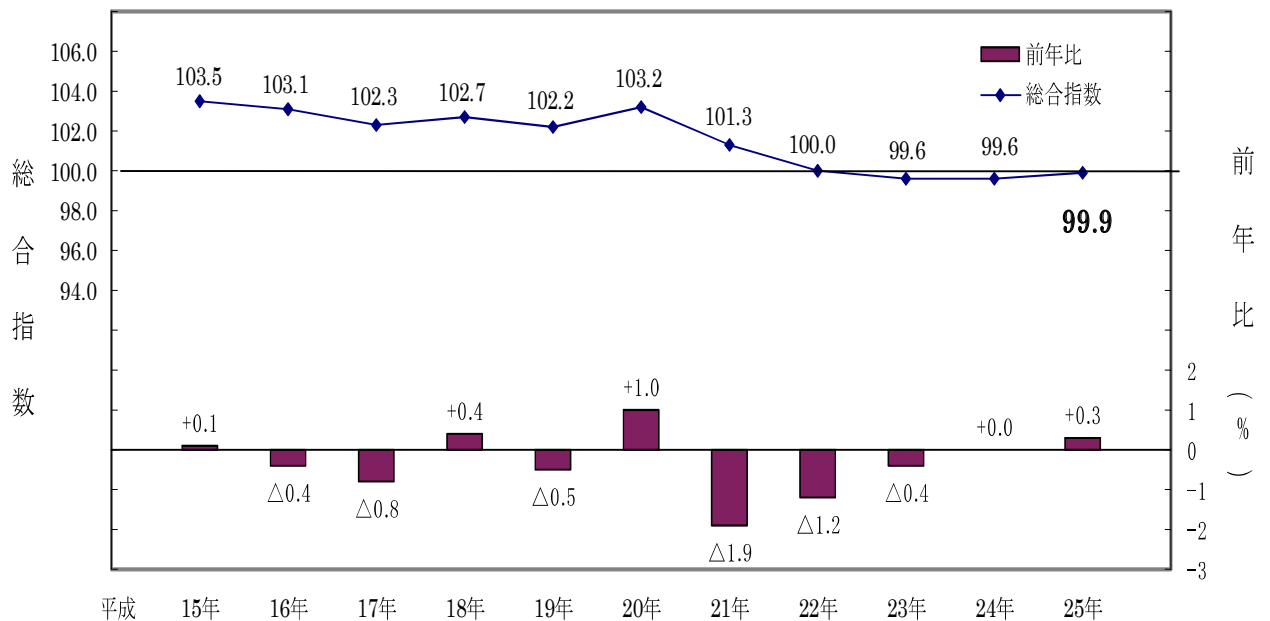


表1 静岡県消費者物価指数の推移及び前年比

(平成22年=100)

平成		15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年
総合	指数	103.5	103.1	102.3	102.7	102.2	103.2	101.3	100.0	99.6	99.6	99.9
	前年比(%)	0.1	△0.4	△0.8	0.4	△0.5	1.0	△1.9	△1.2	△0.4	0.0	0.3
生鮮食品を除く総合	指数	103.9	103.5	102.7	102.9	102.3	103.4	101.5	100.0	99.6	99.7	100.0
	前年比(%)	0.1	△0.5	△0.7	0.2	△0.6	1.0	△1.8	△1.5	△0.4	0.1	0.3
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	指数	—	—	105.3	104.9	103.7	103.1	101.6	100.0	98.8	98.2	97.8
	前年比(%)	—	—	—	△0.4	△1.1	△0.5	△1.5	△1.6	△1.2	△0.6	△0.4

2 10大費目別指数の動き

(1) 概況

平成25年の10大費目別指数の動きを前年比で見ると、「光熱・水道」が電気代、ガス代などの値上げにより3.7%の上昇、「交通・通信」がガソリンなどの値上げにより1.2%の上昇、「諸雑費」が傷害保険料などの値上げにより1.2%の上昇となった。

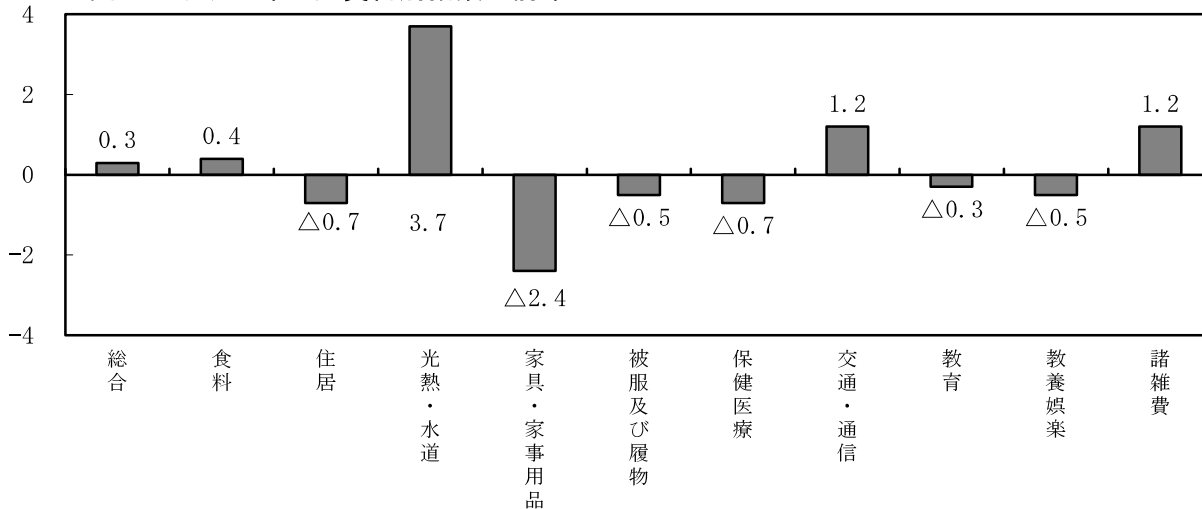
一方、「家具・家事用品」がルームエアコンなど家庭用耐久財などの値下げにより2.4%の下落、「住居」が民営家賃などの値下げにより0.7%の下落、「保健医療」が医薬品などの値下げにより0.7%の下落、「教養娯楽」がテレビなどの教養娯楽用耐久財などの値下げにより0.5%の下落となった。

表2 平成25年10大費目別指数の動き

(平成22年=100)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	99.9	100.5	98.2	112.3	89.1	99.7	97.4	103.2	99.1	92.0	104.6
前年比(%)	0.3	0.4	△0.7	3.7	△2.4	△0.5	△0.7	1.2	△0.3	△0.5	1.2
寄与度	0.30	0.10	△0.14	0.29	△0.08	△0.02	△0.03	0.19	△0.01	△0.06	0.07
寄与率(%)	100.0	33.3	△46.8	94.8	△26.7	△6.8	△10.1	62.2	△2.9	△19.2	23.0

図2 平成25年10大費目別指数の前年比



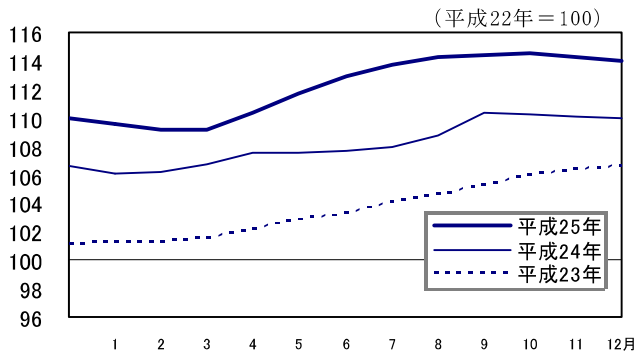
(2) 上昇幅・下落幅の大きかった費目

○ 上昇幅の大きかった費目・・・「光熱・水道」、「交通・通信」

光熱・水道は112.3となり、前年と比べ3.7%の上昇となった。

内訳をみると、電気代が5.4%の上昇、ガス代が2.5%の上昇、他の光熱が灯油の値上げにより7.1%の上昇となった。

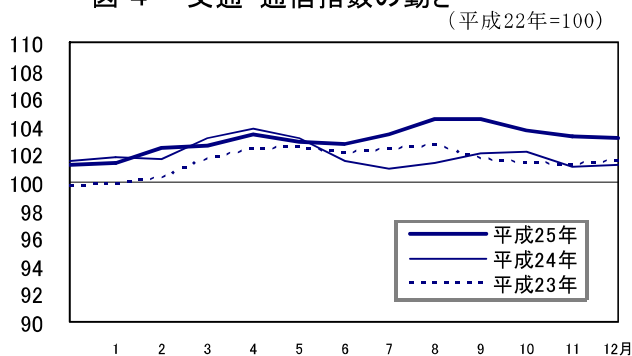
図3 光熱・水道指数の動き



交通・通信は103.2となり、前年と比べ1.2%の上昇となった。

内訳をみると、自動車等関係費がガソリンなどの値上げにより2.1%の上昇、通信が携帯電話機などの値下げにより1.1%の下落となった。

図4 交通・通信指数の動き



○ 下落幅の大きかった費目・・・「家具・家事用品」

家具・家事用品は89.1となり、前年と比べ2.4%の下落となった。

内訳をみると、家庭用耐久財がルームエアコン、電気冷蔵庫などの値下げにより8.0%の下落となった。

図5 家具・家事用品指数の動き

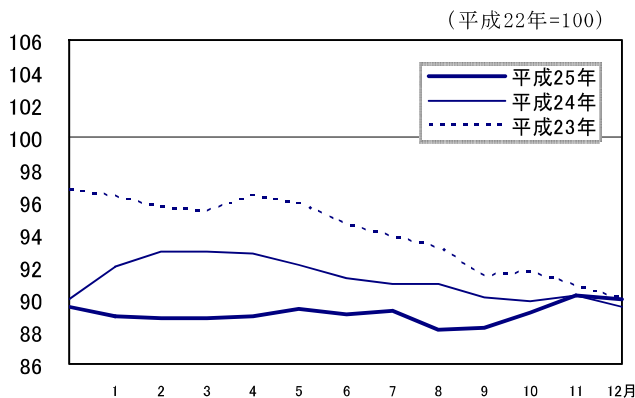


表3 光熱・水道の年平均指数

(平成22年=100)			
中分類	指数	前年比	寄与度
光熱・水道	112.3	3.7%	0.29
電気代	116.9	5.4%	0.20
ガス代	108.6	2.5%	0.06
他の光熱	128.7	7.1%	0.02
上下水道	104.6	1.0%	0.02

表4 交通・通信の年平均指数

(平成22年=100)			
中分類	指数	前年比	寄与度
交通・通信	103.2	1.2%	0.19
交通	101.1	0.1%	0.00
自動車等関係費	105.7	2.1%	0.22
通信	97.4	△1.1%	△0.04

表5 家具・家事用品の年平均指数

(平成22年=100)			
中分類	指数	前年比	寄与度
家具・家事用品	89.1	△2.4%	△0.08
家庭用耐久財	71.3	△8.0%	△0.08
室内装備品	87.1	△2.0%	0.00
寝具類	103.6	0.5%	0.00
家事雑貨	104.7	0.8%	0.01
家事用消耗品	95.8	△0.1%	0.00
家事サービス	99.0	△0.5%	0.00

3 月別の動き

総合指数の前年同月比は、7月に平成24年8月以来11か月ぶりに上昇に転じた。その後も上昇が続いており、上昇幅も拡大している。

生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は、6月に8か月ぶりに上昇に転じた。その後も上昇が続いており、上昇幅も拡大している。

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の前年同月比は、11月に平成18年8月以来7年3か月ぶりに上昇に転じた。

図6 静岡県消費者物価指数の月別の動き

(平成22年=100)

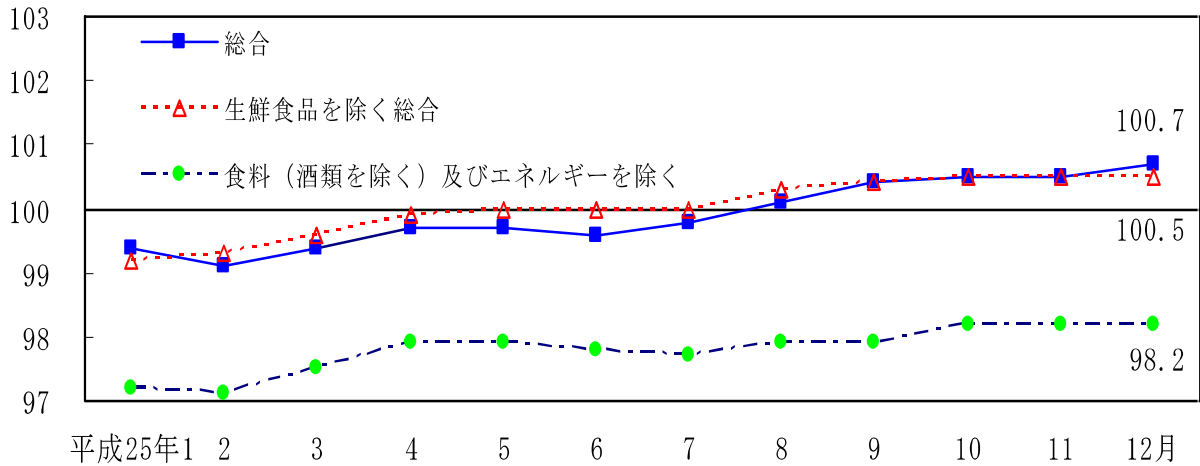


図7 月別の前年同月比の推移

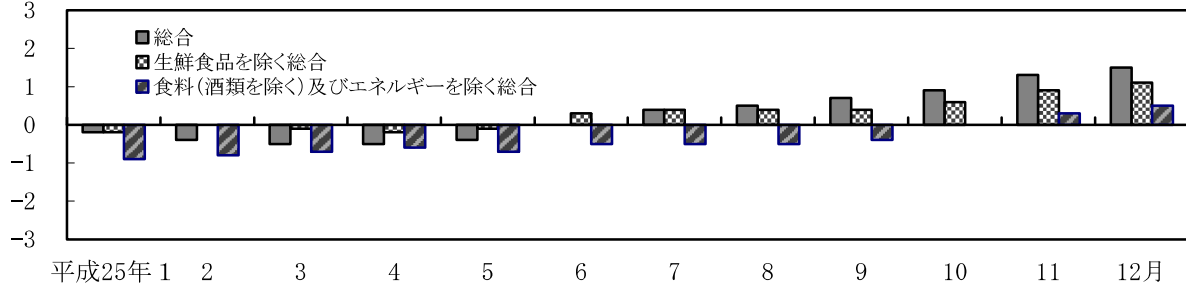


表6 静岡県消費者物価指数の推移及び前年比

(平成22年=100)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	指数	99.4	99.1	99.4	99.7	99.7	99.6	99.8	100.1	100.4	100.5	100.5	100.7
	前月比(%)	0.2	△0.3	0.3	0.3	0.0	△0.1	0.2	0.3	0.3	0.1	0.0	0.2
	前年比(%)	△0.2	△0.4	△0.5	△0.5	△0.4	0.0	0.4	0.5	0.7	0.9	1.3	1.5
生鮮食品を除く総合	指数	99.2	99.3	99.6	99.9	100.0	100.0	100.0	100.3	100.4	100.5	100.5	100.5
	前月比(%)	△0.2	0.1	0.3	0.3	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0
	前年比(%)	△0.2	0.0	△0.1	△0.2	△0.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.6	0.9	1.1
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	指数	97.2	97.1	97.5	97.9	97.9	97.8	97.7	97.9	97.9	98.2	98.2	98.2
	前月比(%)	△0.5	△0.1	0.4	0.4	0.0	△0.1	△0.1	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0
	前年比(%)	△0.9	△0.8	△0.7	△0.6	△0.7	△0.5	△0.5	△0.5	△0.4	0.0	0.3	0.5

4 財・サービス分類指数の動き

(1) 財指数

財は100.1となり、前年と比べ0.7%の上昇となった。内訳をみると、**農水畜産物**は1.0%の上昇、**工業製品**は0.2%の上昇、**電気・都市ガス・水道**は電気代や都市ガス代などの値上げにより4.2%の上昇、**出版物**は0.3%の上昇となった。

(2) サービス指数

サービスは99.8となり、前年と比べ0.1%の下落となった。内訳をみると、**公共サービス**は1.1%の上昇、**一般サービス**は0.5%の下落となった。

表7 財・サービス分類指数の動き

(平成22年=100)

指数	総合	財	農水畜産物	工業製品	電気・都市ガス・水道	出版物	サービス	公共サービス	一般サービス	*			
										外食	民営家賃	帰属家賃	他のサービス
指数	99.9	100.1	100.5	98.2	113.5	101.1	99.8	102.2	99.0	100.5	97.7	97.7	100.0
前年比(%)	0.3	0.7	1.0	0.2	4.2	0.3	△0.1	1.1	△0.5	0.2	△1.0	△1.0	△0.2

* 持家の帰属家賃

5 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数の動き

食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数は、総合指数から国際市況、為替状況などに応じて価格が大きく変動する品目を除いた指数であるため、景況を判断する指標として動きが注視されている。

静岡県では食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数を平成17年から算出しており、前年比は下落が続いているが、下落幅は縮小している。（表1参照）

一方、エネルギー関連品目の指数は、平成23年3月の東日本大震災の影響を受けて上昇傾向が続いていたが、平成25年に入ってから、すべての品目において上昇した。

図8 エネルギー指数の動き (平成22年=100)

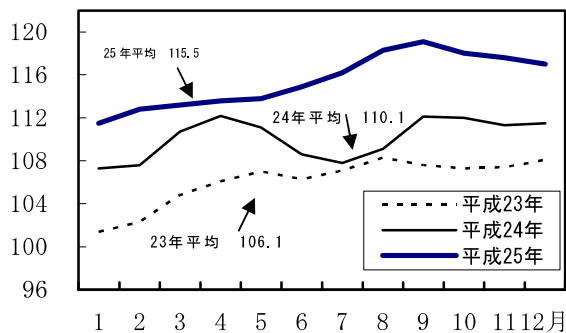
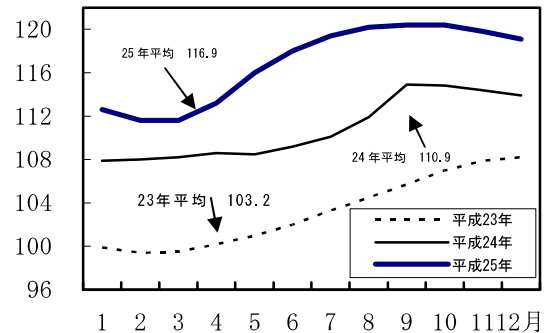


図9 電気代指数の動き (平成22年=100)



(参考) 静岡県消費者物価指数の年別推移

(平成22年=100)

年平均	総合		生鮮食品を除く総合		食品(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合		持ち家の帰属家賃を除く総合	
	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比	指数	前年比
		(%)		(%)		(%)		(%)
平成5年	101.7	1.6	101.7	1.7	—	—	103.7	1.4
6年	102.6	0.9	102.8	1.0	—	—	104.4	0.6
7年	102.2	△ 0.4	102.5	△ 0.3	—	—	103.5	△ 0.8
8年	102.5	0.3	102.8	0.3	—	—	103.4	0.0
9年	104.8	2.2	105.1	2.3	—	—	105.7	2.3
10年	105.6	0.7	105.5	0.4	—	—	106.6	0.7
11年	105.3	△ 0.3	105.5	0.0	—	—	106.1	△ 0.5
12年	104.9	△ 0.3	105.4	△ 0.1	—	—	105.5	△ 0.5
13年	104.3	△ 0.6	104.7	△ 0.7	—	—	104.6	△ 0.9
14年	103.3	△ 0.9	103.9	△ 0.8	—	—	103.4	△ 1.1
15年	103.5	0.1	103.9	0.1	—	—	103.6	0.1
16年	103.1	△ 0.4	103.5	△ 0.5	—	—	103.1	△ 0.4
17年	102.3	△ 0.8	102.7	△ 0.7	105.3	—	102.2	△ 0.9
18年	102.7	0.4	102.9	0.2	104.9	△ 0.4	102.7	0.5
19年	102.2	△ 0.5	102.3	△ 0.6	103.7	△ 1.1	102.2	△ 0.5
20年	103.2	1.0	103.4	1.0	103.1	△ 0.5	103.4	1.2
21年	101.3	△ 1.9	101.5	△ 1.8	101.6	△ 1.5	101.4	△ 2.0
22年	100.0	△ 1.2	100.0	△ 1.5	100.0	△ 1.6	100.0	△ 1.4
23年	99.6	△ 0.4	99.6	△ 0.4	98.8	△ 1.2	99.6	△ 0.4
24年	99.6	0.0	99.7	0.1	98.2	△ 0.6	99.8	0.2
25年	99.9	0.3	100.0	0.3	97.8	△ 0.4	100.3	0.5

(注) この表は、平成5年以降の指数の推移について、平成22年を100として換算し示したものです。

食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合は、平成17年分から公表しています。